

## 6) 年間粗死亡率と生存率

### (2) 導入後1年・5年・10年・15年生存率の推移 (図表20)



#### 解説

#### 1983年以降導入患者の生存率

経年的な導入患者の生存率をみると、1年生存率は例年80%以上を示し、全体では85.6%であり、この数年間は平均値を上回る数値であり、生存率の向上がみられることを意味しています。導入の原因疾患が管理困難な疾患であることを考慮すると治療成績の向上がみられると考えられます。5年生存率は全体では59.7%であり、この数年は良好な成績がみられています。10年生存率は全体で40.2%、15年生存率は28.7%です。特に長期の生存率は年々低下傾向にあり、長期生存の困難さがあることを意味します。これは患者の高齢化に加えて、長期透析に伴う合併症の影響が大きく関与すると考えられます。